



Cisco Unified SIP Proxy Release 1.x から Release 8.5 への移行

- 「移行の概要」 (P.29)
- 「制限事項」 (P.29)
- 「手順の概要」 (P.29)
- 「手順の詳細」 (P.30)
- 「関連事項」 (P.31)

移行の概要

お使いのシステムを Cisco Unified SIP Proxy Release 1.x から Release 8.5 にはアップグレードできません。ただし、システムを移行することはできます。移行では、以前の設定を使うことはできませんが、ソフトウェア システムを完全に再インストールする必要があります。

Release 1.x から Release 8.5 への移行ではクリーン インストールが必要です。クリーン インストールではすべての設定とデータが削除されます。このため、最初に設定をバックアップしておく必要があります。新しいシステムのインストール後に設定とデータを復元します。

制限事項

下位互換性を保証するために最善の努力はしていますが、バックアップした設定を十分に調べ、情報が変わっていないか確認することを推奨します。

手順の概要

1. `commit`
2. `write [erase | memory | terminal]`
3. `offline`
4. `backup {revisions number | server url ftp-url username ftp-username password ftp-password}`
5. `backup category {all | configuration | data}`
6. `continue`

7. `software install clean {package-filename | url ftp://ftp-server-ip-address/package-filename}`
8. `offline`
9. `restore id backup-id category {all | configuration | data}`
10. `reload`

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	<pre>commit</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0(cusp-config)# commit</pre>	Cisco Unified SIP Proxy のコミット可能な設定変更を有効にします。
ステップ 2	<pre>write [erase memory terminal]</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0# write memory</pre>	実行コンフィギュレーションをスタートアップ コンフィギュレーションに書き込みます。
ステップ 3	<pre>offline</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0# offline !!!WARNING!!!: Putting the system offline will terminate all active calls. Do you wish to continue[n]? : y</pre>	<p>オフライン モードを開始します。すべてのコールを終了させます。</p> <p>(注) 引き続き Cisco Unified SIP Proxy はオフライン モードでのコールはルーティングします。</p>
ステップ 4	<pre>backup {revisions number server url ftp-url username ftp-username password ftp-password}</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0(offline)# backup server url ftp://192.1.1.1/ username <ftp-username> password <ftp-password></pre>	バックアップ サーバを設定します。
ステップ 5	<pre>backup category {all configuration data}</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0(offline)# backup category all</pre>	バックアップして保存するデータのタイプを指定します。
ステップ 6	<pre>continue</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0(offline)# continue</pre>	オフライン モードを終了し、システムを前のオンライン モードに戻します。システムは新しいコールの処理を開始します。
ステップ 7	<pre>software install clean {package-filename url ftp://ftp-server-ip-address/package-filename}</pre> <p>例:</p> <pre>se-10-0-0-0(offline)# software install clean url ftp://192.1.1.1/cusp-k9.nmx.8.5.pkg</pre>	Cisco Unified SIP Proxy Release 8.5 イメージをインストールします。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 8	<pre>offline</pre> <p>例 : <pre>se-10-0-0-0# offline !!!WARNING!!!: Putting the system offline will terminate all active calls. Do you wish to continue[n]? : y</pre></p>	<p>オフライン モードを開始します。すべてのコールを終了させます。</p> <p>(注) 引き続き Cisco Unified SIP Proxy はオフライン モードでのコールはルーティングします。</p>
ステップ 9	<pre>restore id backup-id category {all configuration data}</pre> <p>例 : <pre>se-10-0-0-0 (offline) # restore id <backup-id> category all</pre></p>	<p>バックアップ ID の値と復元するファイルのタイプを指定します。</p>
ステップ 10	<pre>reload</pre> <p>例 : <pre>se-10-0-0-0 (offline) # reload</pre></p>	<p>アップロードしたファイルの情報をアクティブ化し、Cisco Unified SIP Proxy システムを再起動します。</p>

関連事項

CLI コマンドの詳細については、『[CLI Command Reference for Cisco Unified SIP Proxy Release 8.5](#)』を参照してください。

